
1. 製品及び会社情報

| | |
|-------------|---------------------------------------|
| 製品名 | : アレルゲンアイ クイック 牛乳 (カゼイン) |
| 製品番号 | : 20 回用 027648 (検査キット 20 枚) |
| | : 5 回用 089887 (検査キット 5 枚、ふき取り用綿棒 5 本) |
| 発売元 | : プリマハム株式会社 基礎研究所 |
| 製造販売元 (連絡先) | : 株式会社つくば食品評価センター 検査試薬事業部 |
| 住所 | : 茨城県土浦市中向原 635 |
| 電話番号 | : 029-841-8950 |
| メールアドレス | : Allergeneye@primaham.co.jp |

2. 危険有害性の要約

| | |
|--------------|-------------------|
| 重要な危険有害性及び影響 | : 通常の手配では、危険性は低い。 |
| GHS 分類 | : 分類できない |

3. 組成及び成分情報

| | |
|------------|----------------|
| 化学物質・混合物区別 | : 混合物 |
| 化学名または一般名 | : trade secret |
| 成分及び含有量 | : 非開示 |
| 化学特性 (化学式) | : 非開示 |
| 官報公示整理番号 | : 非開示 |
| CAS 番号 | : 非開示 |
| 危険有害成分 | : 特になし |

4. 応急措置

| | |
|----------------------------|--|
| 吸入した場合 | : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 目に入った場合 | : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 : 異常があれば、医師の診断、手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | : 口をすすぐこと。気分が悪い場合は、医師に連絡すること。 |
| 予想される急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | : データなし |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|------------------------------------|
| 消火剤 | : 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 |
| 使ってはならない消火剤 | : 特になし |
| 特有の危険有害性 | : 火災によって刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生するおそれがある。 |
| 特有の消火方法 | : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 適切な呼吸保護具、防護服 (耐熱性) を着用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|------------|---|
| 人体に対する注意事項 | : 作業者は適切な保護具 (『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照) を着用する。 |
| 環境に対する注意事項 | : 環境中に放出してはならない。 |
| 二次災害の防止策 | : すべての発火源を速やかに取除く (近傍での喫煙や火炎の禁止)。 |
| 回収 | : 漏洩した液は、紙、布などでふき取る。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----------|---|
| 取扱い | |
| 局所排気・全体換気 | : 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 |
| 安全取扱い注意事項 | : 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 飲み込まないこと。皮膚と接触しないこと。眼に入れないこと。 |
| 接触回避 | : データなし |
| 保管上の注意事項 | |
| 技術的対策 | : 特になし |
| 混触危険物質 | : データなし |
| 保管条件 | : 日光から遮断し、1~30℃の範囲で換気の良い場所で保管すること。 可燃性物質から離しておくこと。熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から離して保管すること。 |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|-------------------------|--------------------|
| 許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標) | |
| 日本産業衛生学会 | : 設定されていない |
| ACGIH | : データなし |
| 設備対策 | : 特になし |
| 保護具 | |
| 手の保護具 | : 適切な保護手袋を着用すること。 |
| 眼の保護具 | : 適切な眼の保護具を着用すること。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 適切な保護衣を着用すること。 |
| 衛生対策 | : 取扱い後はよく手を洗うこと。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | 検査キット | ふき取り用綿棒 |
|--------------|-------|-----------------------------|
| 形状 | 固体 | 液体 |
| pH | データなし | 中性 |
| 臭い | 無臭 | 無臭 |
| 融点 | データなし | 約0℃ |
| 沸点 (初留点) | データなし | 約100℃ |
| 引火点 | データなし | 不燃性である |
| 自然発火温度 | データなし | データなし |
| 爆発範囲 (上限・下限) | データなし | データなし |
| 密度 | データなし | 約1.0g/cm ³ (20℃) |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------|
| 反応性 | : データなし |
| 避けるべき条件 | : 日光、熱、燃焼 |
| 混触危険物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : 一酸化炭素、二酸化炭素 |

11. 有害性情報

| | |
|--------------------|---------|
| 急性毒性 | : データなし |
| 皮膚腐食性・刺激性 | : データなし |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性 | : データなし |
| 呼吸器感作性または皮膚感作性 | : データなし |
| 生殖細胞変異原性 | : データなし |
| 発がん性 | : データなし |
| 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） | : データなし |
| 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） | : データなし |
| 吸引性呼吸器 | : データなし |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|---------|
| 水生環境急性有害性 | : データなし |
| 水生環境慢性有害性 | : データなし |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|-----------------------------------|
| 残余廃棄物 | : 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 |
| 汚染容器及び包装 | : 関連法規並びに地方自治体の基準に従って、適切な処分を行うこと。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|--------|--|
| 国際規制 | |
| 陸上規制情報 | : 非該当 |
| 海上規制情報 | : 非該当 |
| 航空規制情報 | : 非該当 |
| 国内規制 | |
| 陸上規制情報 | : 非該当 |
| 海上規制情報 | : 非該当 |
| 航空規制情報 | : 非該当 |
| 特別安全対策 | : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。 |

15. 適用法令

| | |
|-------------------|-------|
| 消防法 | : 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | : 非該当 |
| 労働安全衛生法 | : 非該当 |
| 船舶安全法（危規則） | : 非該当 |
| 航空法 | : 非該当 |
| 海洋汚染防止法 | : 非該当 |
| 化学物質管理促進法（PRTR 法） | : 非該当 |

16. その他の情報

参考文献 引用 原料試薬供給先から提供された SDS 等

*この安全データシートは一般的な試薬の取扱いを主に記載しておりますが、危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。記載内容は通常の取り扱いを前提にしたものです。本データシートは安全な取扱いのための情報を提供するものであって、いかなる保証をなすものではありません。ご使用に際しては国、地域、機関等の最新の規則、条例、法規制などを調査し、それらを最優先して下さい。
